

料金メニューの見直しについてのお知らせ

2023年4月1日実施

この度の料金メニューの見直しは、昨今の世界的な資源価格の高騰に加え、ウクライナ情勢の影響により、国際燃料市場における供給不足が懸念されていることとともない、燃料価格や電力市場価格がさらに上昇した結果、調達費用が増加していることから、2023年4月1日より、高圧または特別高圧で電気をお使いのお客さまを対象に実施をさせていただくものです。

主な見直しの内容

1 市場価格の変動を調整する仕組みを新たに導入

現行の燃料費調整制度では、原油・LNG・石炭の燃料価格の変動に応じて、毎月自動的に電気料金を調整しています。見直し後は**燃料価格の反映**（燃料価格調整項^{※1}）に加え、卸電力取引市場における**スポット市場価格の東京エリアプライス**（以下「スポット市場価格」）の変動も**電力量料金に迅速に反映させる仕組みとして市場価格調整項を新たに導入し**、燃料費調整制度を燃料費等調整制度へ見直しいたします。算定式は以下のとおりですが、詳細は裏面「新たな燃料費等調整制度」をご確認ください。

$$\begin{array}{c} \text{燃料費等調整単価} \\ \text{(銭/kWh)} \end{array} = \begin{array}{c} \text{燃料価格調整項} \\ \text{(平均燃料価格-基準燃料価格)} \\ \times \text{基準燃料単価}^{\ast 2}/1,000 \end{array} + \begin{array}{c} \text{市場価格調整項} \\ \text{(平均市場価格-基準市場価格)} \\ \times \text{基準市場単価} \end{array}$$

※1 従来の燃料費調整単価に該当します

※2 従来の基準単価に該当します

2 燃料価格調整項の算定諸元の見直し

燃料価格調整項の**基準燃料価格**、**基準燃料単価**および**換算係数**を見直いたします。

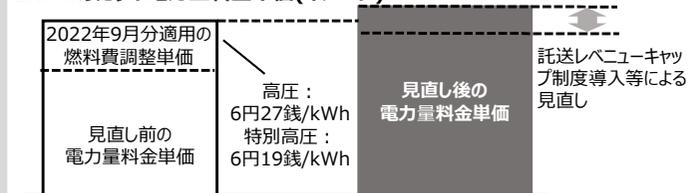
項目	見直し前	見直し後	
基準燃料価格	44,200円/kl	64,900円/kl	
基準燃料単価（高圧）	22銭4厘/kWh	15銭0厘/kWh	
基準燃料単価（特別高圧）	22銭1厘/kWh	14銭5厘/kWh	
換算係数	α（原油）	0.1970	0.0033
	β（LNG）	0.4435	0.4001
	γ（石炭）	0.2512	0.6241

3 料金単価の見直し

見直し後の**基本料金単価**は、見直し前の基本料金単価に**東京電力パワーグリッド株式会社の託送供給等約款の見直し**（2023年4月1日からの料金見直し^{※1}）を反映したものとします。

見直し後の**電力量料金単価**（燃料費等調整単価の反映前）は、見直し前の電力量料金単価（燃料費調整単価の反映前）に**2022年9月分適用の燃料費調整単価**を加え、**東京電力パワーグリッド株式会社の託送供給等約款の見直し**（2021年10月1日からの料金見直し^{※2}および2023年4月1日からの料金見直し^{※1}）を反映したものとします。具体的な料金単価は、同封資料をご確認ください。

1kWhあたりの電力量料金単価(イメージ)



※1 新たな託送料金制度（託送レベニューキャップ制度）の導入にともない、ご契約内容に応じて基本料金および電力量料金等が見直しされます

※2 2021年10月1日より、使用電力量1kWhにつき+3銭見直しされております

見直し後の電力量料金の試算について

今後の燃料価格、スポット市場価格の想定は困難です。あくまで参考値となりますが、仮に以下の条件のもと試算した場合、見直し前後の1kWh当たりの電力量料金の単価差は記載のとおりです。

なお、燃料価格、スポット市場価格の動向により、お客さまのご負担がさらに増えるまたは減る場合がございます。

<見直し前後の電力量料金の単価差> (円/kWh)

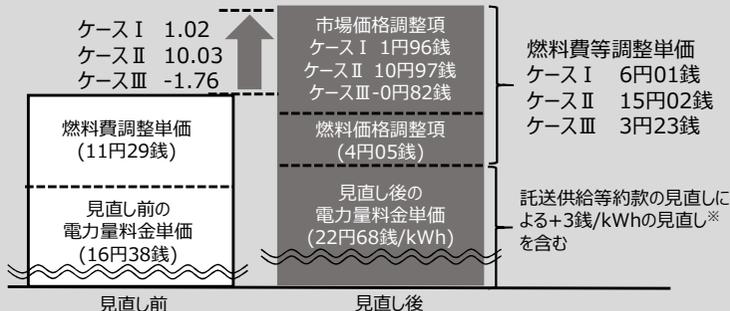
平均市場価格		ケースⅠ	ケースⅡ	ケースⅢ
平均燃料価格		23.26	50.00	15.00
見直し前	94,600円/kl	電力量料金の単価差		
ケースⅠ～Ⅲ	91,900円/kl	1.02	10.03	-1.76

※平均燃料価格は、2023年3月分の算定期間における貿易統計価格にもとづき算定

※ケースⅠの平均市場価格は、2022年10月21日～2023年1月20日のスポット市場価格にもとづき算定

※国による電気・ガス価格激変緩和対策事業にともなう値引き額は含みません

<1kWhあたりの電力量料金(業務用電力その他季のイメージ)>



※2021年10月1日より、使用電力量1kWhにつき+3銭見直しされております

料金以外の見直し内容

料金以外の実見直し内容は以下のとおりです。その他見直し内容は、当社ホームページをご確認ください。

■ 第三者への需給契約内容等開示の可能性を規定

法令および監督官庁その他公的機関からの要請にもとづき、需給契約内容等を開示することがある旨を規定いたしました。

URL

https://www.tepco.co.jp/ep/corporate/plan_h/minaoshi.html

電気料金の算定方法

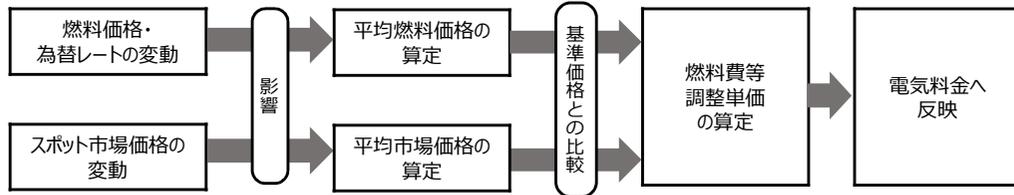
- 毎月の電気料金は、契約電力にもとづいて算定された基本料金、使用電力量にもとづいて算定された電力量料金および再生可能エネルギー発電促進賦課金を合計したものといたします。電力量料金は、燃料価格およびスポット市場価格の変動に応じて燃料費等調整額を加え、算定いたします。



新たな燃料費等調整制度

- 原油・LNG・石炭の燃料価格およびスポット市場価格の変動に応じて、自動的に電気料金を調整する仕組みです。
- 燃料費等調整単価は、平均燃料価格と基準燃料価格との差分、および平均市場価格と基準市場価格との差分にもとづき算定し、電気料金に反映します。

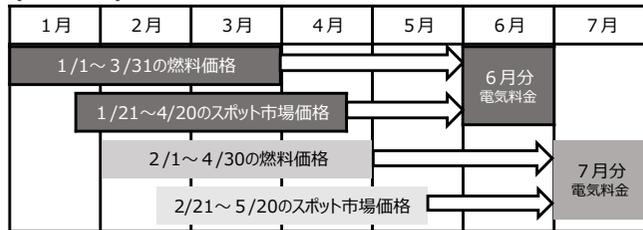
<燃料費等調整制度の流れ(イメージ図)>



➤燃料価格およびスポット市場価格の算定期間と電気料金への反映時期

- 各月の燃料費等調整単価は、3カ月間の燃料価格およびスポット市場価格にもとづき算定し、燃料価格は2カ月後、スポット市場価格は約1カ月半後の電気料金に反映します。

(イメージ図)



➤燃料費等調整単価の算定方法

- 燃料費等調整単価
右記の算式にて算定いたします。

燃料費等調整単価 =
(平均燃料価格 - 基準燃料価格) × 基準燃料単価 / 1,000
+ (平均市場価格 - 基準市場価格) × 基準市場単価

①基準燃料価格および基準市場価格

基準燃料価格および基準市場価格とは、以下の算定期間を基に決定した燃料価格調整項および市場価格調整項における価格変動の基準値をいいます。

□基準燃料価格

2022年4月～6月の実績	1klあたりの平均原油価格	88,732円
	1tあたりの平均LNG価格	101,844円
	1tあたりの平均石炭価格	38,217円

基準燃料価格
<原油換算1klあたり>
64,900円

□基準市場価格

2021年7月～ 2022年6月の実績	1kWhあたりの 単純平均スポット市場価格	18円03銭
	毎日午前8時から午後4時までの1kWh あたりの単純平均スポット市場価格	16円30銭

基準市場価格
<1kWhあたり>
17円44銭

②毎月の平均燃料価格および平均市場価格

□平均燃料価格

原油・LNG・石炭それぞれの算定期間の貿易統計価格と右記の算式により、算定いたします。

[平均燃料価格(原油換算1klあたり) = ①×α + ②×β + ③×γ]

①算定期間における1klあたりの平均原油価格	α=0.0033
②算定期間における1tあたりの平均LNG価格	β=0.4001
③算定期間における1tあたりの平均石炭価格	γ=0.6241

□平均市場価格

算定期間のスポット市場価格と右記の算式により、算定いたします。

[平均市場価格 = ④×δ1 + ⑤×δ2]

④算定期間における1kWhあたりの単純平均スポット市場価格の平均値	δ1=0.6566
⑤算定期間における毎日午前8時から午後4時までの1kWhあたりの単純平均スポット市場価格	δ2=0.3434

③基準燃料単価および基準市場単価

基準燃料単価とは、平均燃料価格が1,000円/kl変動した場合に発生する電力量1kWhあたりの変動額をいいます。また、基準市場単価とは、平均市場価格が1円/kWh変動した場合に発生する電力量1kWhあたりの変動額をいいます。

	基準燃料単価 (1kWhあたり)	基準市場単価 (1kWhあたり)
高圧	15銭0厘	33銭7厘
特別高圧	14銭5厘	32銭8厘

託送料金とは

- 小売電気事業者が一般送配電事業者等の送配電設備を通じてお客さまに電気をお送りする際に発生する送配電設備利用料です。2023年4月の託送レベニューキャップ制度の導入にともない、ご契約内容に応じて基本料金および電力量料金等が見直しされます。

